

令和6年度 第9回 学校運営協議会会議録

学校名	杉森中学校
記録者	朝枝 晴美

開催日時	令和7年1月9日(火) 午後4時～
開催場所	杉森中学校 北館2階 会議室
出席者(委員)	出席：岡田会長、佐々木校長、村上会長職務代行、小川委員、狩野委員、佐久間委員、西野委員、福島委員 朝枝 欠席：国藤委員、三箇山委員
出席者(学校)	濱田副校長 教務主任
傍聴者人数	なし

会議内容(次第順)
<input type="checkbox"/> 生徒会役員との意見交換 <input type="checkbox"/> 会長挨拶 <input type="checkbox"/> 校長挨拶 <input type="checkbox"/> 議事録・配付資料確認 <input type="checkbox"/> 討議事項：1令和7年度教育課程の編成方針について 2令和7年度特別支援教室教育課程について <input type="checkbox"/> その他：
主な意見
<input type="checkbox"/> 生徒会との意見交換会～公約と活動の感想など～ 生徒会会長以下6名参加 主として、杉森祭とあいさつ運動について、感想・改善点など意見交換 <input type="checkbox"/> 会長挨拶：今年もよろしくお願ひします。本日は、来年度の教育課程の方針などを伺う予定で、河村先生からの説明があります。先生がお見えの前に前回の議事録確認をお願いします。 <input type="checkbox"/> 校長挨拶：3学期がスタートしました。年末からインフルエンザの流行があり、来週2年生のスキー教室、3年生は私立校の推薦入試が始まるので、始業式はオンラインで行いました。今後も、感染防止をしつつコロナ禍で培ったオンライン技術を活用し、全校朝礼などを実施していきたい。 <input type="checkbox"/> 討議事項 1 令和7年度教育課程の編成方針について 教務主任より 昨年末杉並区教育委員会から方針が示された。教育ビジョン2022に示されている7項目について編成を進めていくことは変わらないが、以下2点が重点項目として示された。 ① いじめ対策の強化 教育課程説明会において、いじめに関する授業を年3回道徳や学級の時間を使い行うこと。いじめ対策委員会を月1回以上開催し、相談しやすい環境をつくることが示された。当校としては、既に行っていることではあるが、明文化し、教育課程に載せるつもりである。 また今年度から弁護士がいじめに関する講演を中学1年生に対して行うことになった。 ② 安全管理の強化 昨年起きた校庭の釘の事例などから、区の学校危機管理マニュアルを改定された。それに伴い、●施設点検チェックリストの点検項目の追記、●教科学習時の安全指導の追記等学校としても細かく規定し明文化することになった。 ③その他 ●生徒の主体的な取り組み ●ICT利用 については、引き続き進めていく。当校としては、

生徒主体の取組みは行事など実行委員会方式などで取り組んでおり、今年度は生徒手帳にある服装についての決まりについて話し合い改正を行ったりしている。また、ICT教育については、一人ひとりに配布されているタブレットを利用し、より学校内外での活用を深めていこうと考えている。

指導要領の改訂もあるがその中の「個別最適な学び」についてもタブレットを利用しながら、具体的、多角的に取り組む予定である。

全体としては、より具体化し、マイナーチェンジするという対応で考えていこうと思っている。2月に案を提出する予定である。

＜質疑・意見＞

- ・いじめの授業を年3回というのは、学校単位、学年単位で3回ということか？
- ・いじめについて今まで外部から講師を呼ぶということはあったのか？弁護士は区教委が依頼するのか？
- ・いじめの対策を重点項目にしたということは、いじめが増えているのか？
- ・「いじめ」の授業も、ハラスメントと同じでグレーゾーンが多く、犯罪か否かということではなく、「人権」について考え、一人ひとりが尊重されなければならないということから学ぶというのもいいと思う。
- ・いじめ防止対策委員会というのは？
- ・弁護士については何かきいているか？弁護士から単に犯罪になるからということではない話をしてほしいと思う。
- ・社会に出て、人が集まるところには必ず「いじめ」は、レベルの差はあっても、生まれるのではないかと思っている。根絶できるものではないが、不断の取組み、永遠の取組みが必要と思う。小さい頃から人権意識を学んでいくことで、重大事案は減ってくるのではないか。
- ・大人の側の振る舞いも大切だと思う。「ひいき」をしたり「悪口」を言ったり、気を付けないといけない。また、子どものときは世界が狭いので、広い視野を持てるよう、学校だけではないというような気付きも与えていきたい。
- ・教育課程とは少し違うかもしれないが、生徒の安全ということで、部活動時の移動についても心配である。拠点校行くまでの安全についてはどうなっているのか？
- ・部活動の地域移行については、文化部もどうなっていくのか気になるところである。
- ・教育調査の結果を踏まえ、「英語」「コミュニケーション能力」について学校経営計画等でどのように取り扱うのか？

➡ 2月にたたき台を確認し、承認へ。

2 特別支援教室の教育課程について 校長より

・昨年と変わっていない。このほかにある個別指導案がより重要となってくる。指導の重点の（1）自立活動というのは、グループ活動、（2）適応力の向上というのは個人の課題の取組みとなっている。この届については「学習」は入らない。

＜質問 意見＞

- ・個別の指導案が必要な生徒は何人いるのか？
- ・通常の学級に戻った時にサポートが必要な子はいるのか？

➡ 承認

□ その他

＜懇談を踏まえ＞

- ・あいさつは「運動」ではなく日常ができるようになるとよい。
- ・杉森祭で小学生からみられる自分たちの姿を確認できて良かったのではないか。部活動に参加していない子たちのかかわりができるといい。
- ・良いか悪いかではないが、準備を整えてきての発言。フリーで来た時の発言はもっと違うものになるのではないか。

＜コメントについて＞

- ・やり方が悩ましい。
- ・コメント(昨年配布のもの)が変わっている人がいたらお知らせください。

次回の会議日程

日時	令和7年2月4日(火) 午後4時から
会場	杉森中学校北館2階会議室